

U.S. Indicators

発表日:2024年5月7日(火)

米国 個人消費の減速を示唆(4月 CB 消費者信頼)

～消費者は先行きに対する悲観的な見方を一段と強めた～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年4月のCB消費者信頼感指数は、97.0（前月103.1：改定前104.7）と前月比▲6.1ポイント低下し、市場予想の104.0（筆者予想104.8）を大幅に下回った。現状指数が142.9（前月146.8：改定前151.0）と前月比▲3.9ポイント低下したうえ、期待指数が66.4（前月74.0：改定前73.8）と同▲7.6ポイント低下した。エネルギー価格や金利の再上昇等を背景に、消費者は景気や雇用の先行きに対する悲観的な見方を強めた。

4月のCB消費者信頼感指数は、消費者が現在の雇用機会に対する楽観的な見方を維持した一方、景気や雇用の先行きに対して慎重な見方を強めており、4-6月期入り後の個人消費の減速を示唆している。

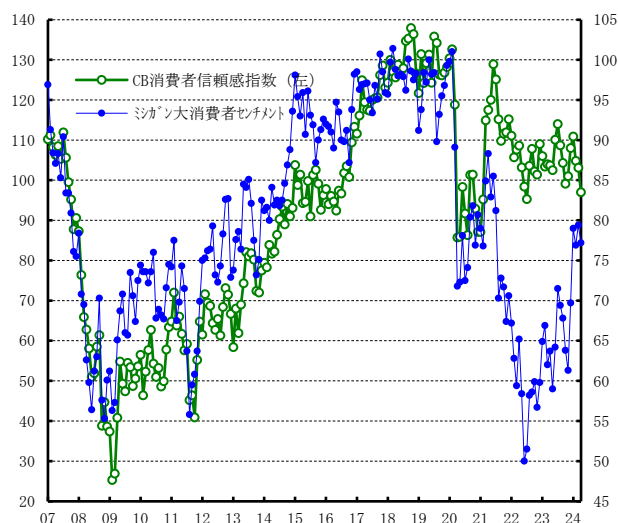
現状指数の構成項目では、「景気」がプラス幅を拡大した一方、「雇用」がプラス幅を縮小した。現在の景気に対する判断（「良い」-「悪い」）が+3.2（前月+1.6：速報+2.3）とプラス幅を拡大し、現在の景気に対する楽観的な見方を強めた。一方、現在の雇用機会に対する判断（「充分」-「困難」）が+25.3（前月+29.5：速報+32.2）とプラス幅を縮小し、現在の労働市場に対する楽観的な見方を弱めた。

期待指数の構成項目では、「収入」がプラス幅を縮小したうえ、「景気」、「雇用」がマイナス幅を拡大した。6ヵ月後の収入に対する見方（「増加する」-「減少する」）は、+1.5（前月+3.8：速報+2.7）とプラス幅を縮小し、収入に対する楽観的な見方を弱めた。また、6ヵ月後の景気に対する見方（「良くなる」-「悪くなる」）は、▲7.1（前月▲4.2：速報▲3.3）とマイナス幅を拡大し、景気の先行きに対する悲観的な見方を強めた。さらに、6ヵ月後の雇用に対する見方（「多くなる」-「少なくなる」）は▲7.9（前月▲4.5：速報▲4.3）とマイナス幅を拡大、雇用の先行きに対する悲観的な見方を強めた。

消費者信頼感 (Consumer Confidence)

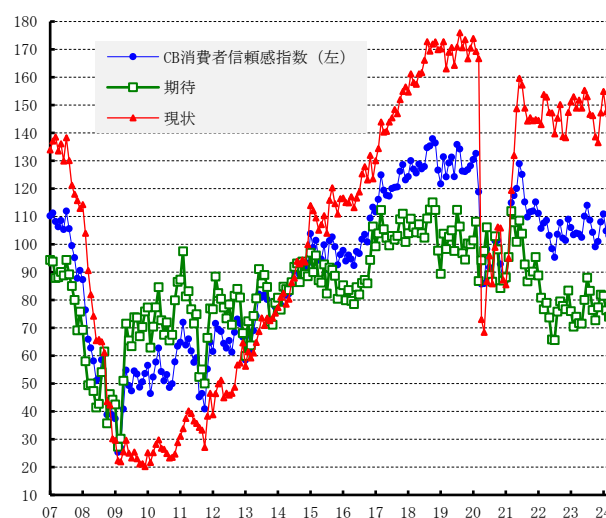
	消費者信頼感指数										ミシガン大学消費マインド*	
	期待指数	現状指数	雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		期待	現状		
充分			困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅					
23/04	103.7	71.7	151.8	47.5	10.6	14.1	21.4	10.0	5.5	63.7	60.6	68.5
23/05	102.5	71.5	148.9	43.3	12.6	13.2	21.4	11.5	5.9	59.0	55.1	65.1
23/06	110.1	80.0	155.3	45.4	12.6	14.6	17.7	11.0	5.9	64.2	61.1	68.9
23/07	114.0	88.0	153.0	43.7	11.3	17.2	14.5	11.7	5.6	71.5	68.3	76.5
23/08	108.7	83.3	146.7	39.9	13.2	17.5	17.3	12.3	6.1	69.4	65.4	75.5
23/09	104.3	76.4	146.2	39.7	14.2	15.3	18.7	11.7	5.5	67.8	65.7	71.1
23/10	99.1	72.7	138.6	37.9	14.1	15.5	20.9	10.3	5.0	63.8	59.3	70.6
23/11	101.0	77.4	136.5	38.6	15.6	17.2	20.1	10.7	5.0	61.3	56.8	68.3
23/12	108.0	81.9	147.2	40.4	13.1	18.7	17.8	11.9	5.3	69.7	67.4	73.3
24/01	110.9	81.5	154.9	42.7	11.0	16.7	16.0	10.7	4.8	79.0	77.1	81.9
24/02	104.8	76.3	147.6	42.8	12.7	14.0	16.9	10.8	4.6	76.9	75.2	79.4
24/03	103.1	74.0	146.8	41.7	12.2	14.3	18.5	11.4	5.2	79.4	77.4	82.5
24/04	97.0	66.4	142.9	40.2	14.9	12.8	19.9	10.8	4.9	77.2	76.0	79.0

(図表) 消費者マインドの動向(月次)



(出所) C B、ミガン大学

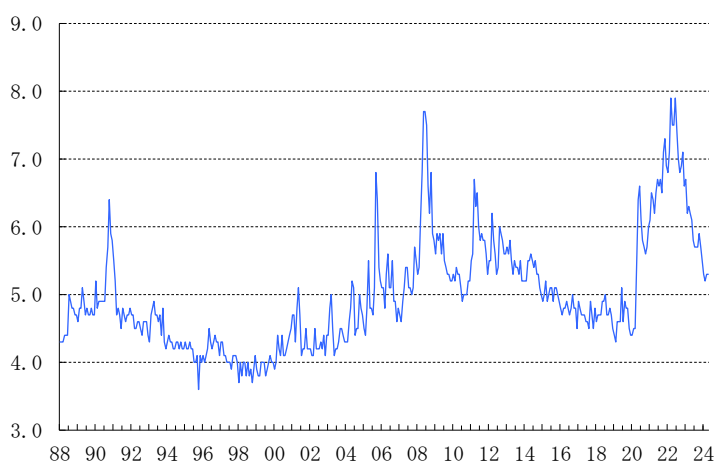
(図表) 消費者マインドの動向(月次)



(出所) C B

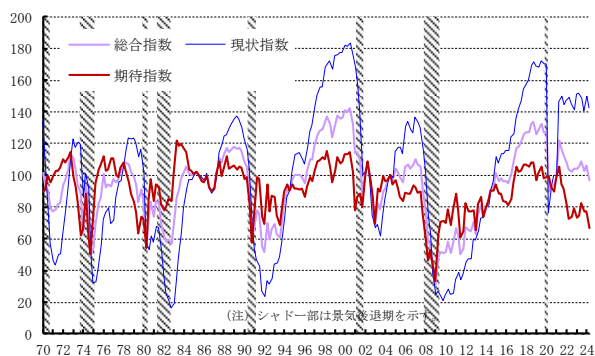
インフレに関しては、1年先のインフレ見通しが5.3%（前月5.3%）と依然高い上昇が予想されているが、低下傾向を辿っており、インフレの低下継続を示唆している。

(%) 12ヵ月後のインフレ見通し

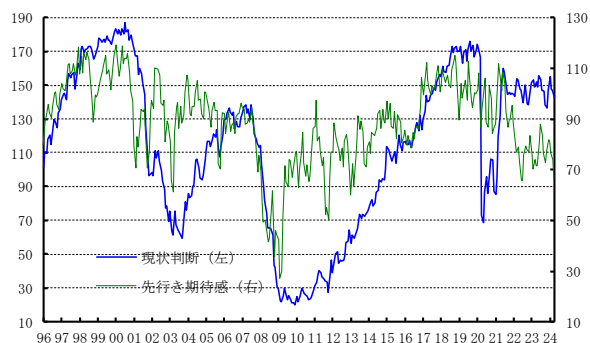


今後のC B消費者信頼感調査では、利下げ期待の高まりを受けた長期金利の低下や、景気の先行きに対する楽観的な見方等が、期待指数の上昇に繋がる可能性が高い。一方、これまでの利上げや中堅銀行の破綻を受けた信用状況の引き締め、コスト増加等を受けた景気の減速、労働需給ひっ迫の緩和を背景に、現状指数が低下すると見込まれる。この結果、C B消費者信頼感指数は100程度にとどまり、個人消費の緩やかな減速の一因になると予想される。

消費者信頼感指数の推移(四半期)

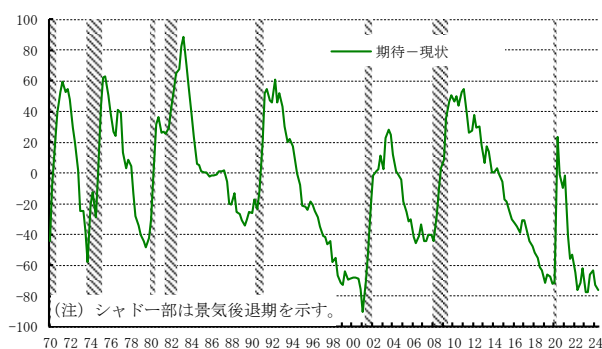


消費者信頼感指数の推移

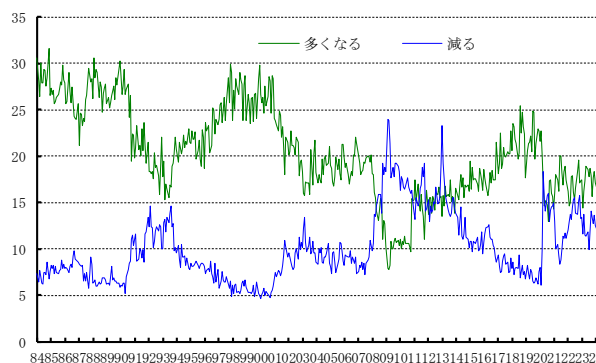


(出所) C B

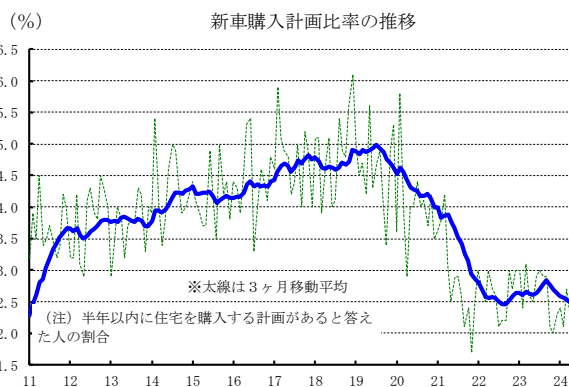
(期待指数-現状指数)の推移



(%) 6ヶ月後の収入見通し

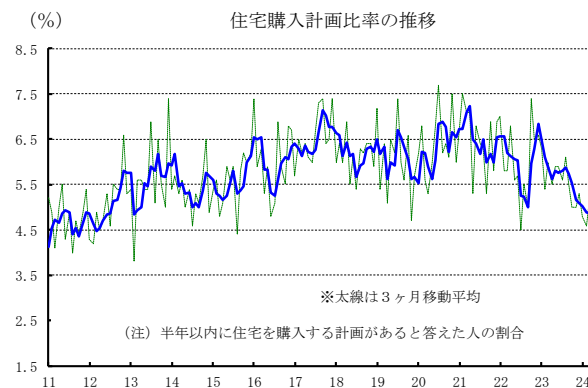


新車購入計画比率の推移



(出所) C B

住宅購入計画比率の推移



(出所) C B

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。